

並木市政もブラックボックスだらけ

宮川 豊史
(久留米ハートネット)



質問 いつ、どこで、誰が、何を決めているのか、さっぱり分からない。議会の意見を聞かず、議論もしようがない。市長が勝手に決めたことを一方的に議会に押し付ける。こういう並木市長のやり方は許せない。

もう一度誠意を持って議会と議論したいのであれば、しんかわ保育園の民間化1年先送りを撤回すべき。

市長 私として判断し、報告し、質疑もした。

質問 ごみの戸別収集、なぜ一軒ずつ説明しないのか。

答弁 個別にいただいた相談には対応している。今後も自治会・集積場単位の説明会の中で対応してまいりたい。

質問 ごみの収集袋、視覚障害者が手で触って判別できるように、なぜ当事者の意見を聞かないのか。

市長 そういふ取り組みをしたことがないので、調査したい。

職員定数条例と実態の乖離、改善案は

桜木 善生
(社民党)



質問 市職員の実態について、①職員定数条例と乖離しているが整合性は、②現状と今後は、③市長の見解は。

答弁 ①条例上は87名だが、財政健全経営計画では57名である。適正な条例定数に改める必要性は認識しているが、雇用と年金の接続に関する国の動向があり、その考え方が示された際には再検討していく。②4月1日現在の職員数は、フルタイム再任用を含め52名と厳しい体制であるが、業務に支障がないよう適正な配置に努める。

市長 ③少数精鋭による業務体制を構築していく。

質問 公用車利用について、①公務のため利用と断言できるか、②近距離の利用についてどう考えるか。

市長 ①執務を遂行するため、安全かつ効率的に利用するものと考えている。②天候のことやさまざまな要因がある。適正に判断して利用している。

地域包括ケアシステムへの対応を

篠宮 正明
(自民クラブ)



質問 地域包括ケアシステムの構築について、医療介護総合確保推進法が公布され、高齢者への在宅医療、介護連携などの地域支援事業の充実を図ることとされたが、取り組み状況は。

答弁 在宅療養相談窓口を市医師会より引き継ぎ、役割の整理や機能の充実に努めている。5月に在宅医療・介護連携推進協議会を立ち上げ、7月には現状を知り、課題を抽出するため、医療関係機関等にアンケートを実施した。10月には在宅療養シンポジウムを開催する予定である。

質問 第五小の学級増に向けた対応について、学校北側に取得した用地に整備する校舎棟の進捗状況および整備内容について伺う。

答弁 新たに特別教室棟を整備することとし、音楽室、図工室、理科室、おのおのの準備室、多目的集会室、誰でもトイレの基本設計を行った。

市民のためのまちづくりを

島崎 清一
(自民クラブ)



質問 ごみの戸別収集容器について、①申請および配布状況は、②排出場所などの相談への対応は、③締め切り日までに申請できなかった方への対応は。

答弁 ①約1万3000件の申請があり、各小学校および地区センターにて配布した。②配布場所ごみ対策課の職員が対応を行った。③申請があれば10月以降も順次対応する。

質問 ①児童・生徒の学力・体力向上について、今後の取り組みは、②道徳教育について、本市の取り組みは。

答弁 ①学力向上については、国語力向上を目指し、培った国語力を各教科で積極的に活用していく。体力向上については、東京都教育委員会の指定を受けた下里小・久留米中の成果を市内小・中学校に普及していく。②情報モラル、いじめ問題、生命尊重の精神、グローバル化の4つの現代的な課題を取り上げた教育を実施している。

市政のここが聞きたい



東久留米市地域資源 PRキャラクター

湧水の妖精
るるめちゃん

第3回定例会の一般質問は、9月5日～8日の4日間で行われ、21名の議員が当面する市政運営について市長の姿勢や考え方を質問しました。主な内容を掲載します。一般質問を含む第3回定例会の本会議の録画映像は、市HPのインターネット映像配信よりご覧いただけます。会議録は、11月下旬より、市HPまたは、市立図書館、各コミュニティ図書室、市政情報コーナー（本庁舎2階）でご覧いただけます。

市民サービス向上のために

関根 光浩
(公明党)



質問 財政健全経営計画(実行プラン)改訂版に示されたコンビニエンスストアを活用した各種証明書交付の今後のスケジュールについて伺う。

答弁 コンビニ交付は、個人番号カードを利用して、全国のコンビニエンスストアで各種証明書の交付を受けることのできる制度として、全国の団体でサービスの提供が進んでいる。先行団体の状況を調査・研究し、29年度の導入に向けた手続きやシステム開発などの作業が行えるように進めていく。

質問 児童虐待について、全国的に件数が増える状況の中で児童福祉法が改正されるが、市の取り組みを伺う。

答弁 改正法では、市町村は児童虐待の発生予防・早期発見に努め、発生した際の迅速的確な対応や、被害児童への自立支援などの目的が明確化されている。具現化するため、児童相談所等の関係機関との連携に努めていく。

災害時通信手段と鉄道交通の充実

三浦 猛
(公明党)



質問 公衆電話は、回線が災害時優先電話に種別されており、災害時でもつながりやすく、周辺が停電しても使える設置場所の把握と防災マップへの記載を提案したが、状況を伺う。

答弁 市内に約10カ所ある。次回の防災マップより、位置を記載する。

質問 避難所などに設置する「特設公衆電話」というものがある。自治体の要望のもと、あらかじめ回線だけを引いておいて、災害時には電話機を接続して無料通話を可能とするもの。当市も実施すべきではないか。

答弁 検討してまいりたい。

質問 来年春に、西武池袋線と横浜方面等を直通する全席指定制の車両が導入される。西東京市と連携して、西武鉄道に、ひばりヶ丘駅停車のお願いの申し入れを要望しているが、動向は。

答弁 今後も適宜連絡を取り合い、情報共有と調整を図ってまいりたい。

宝泉寺通りの安全対策を早急に

永田 雅子
(日本共産党)



質問 上の原新アクスエス道路建設に係る安全対策について、①現在、宝泉寺通り沿いの空き地に下水管が山積みとなっており、その場所子どもたちが遊んでいる状況がある。地域の保護者から不安の声が届いているが、どのように考えているのか、②宝泉寺通りの整備、安全対策が今強く求められているが、見解を伺う。

答弁 ①どういった安全対策がとれるのか検討したい。②必要性は認識しており、今後の対応を考えていきたい。

意見 引き続き沿道住民の意見、要望にしっかりと対応していただきたい。

質問 就学援助における入学準備金の事前支給について、課題があるとのことであるが、他市では今年度から入学前に支給する例もある。課題の対応について検討すべきではないか。

答弁 引き続き他市の状況等を調査・研究したい。

待機児解消へ「さいわい保育園」の活用を

原 紀子
(日本共産党)



質問 来年度予定されていた定員60名の民間の認可保育園新設ができなくなったことで、何らかの対応が求められている。来年度に向けた緊急対策として、既存施設である「さいわい保育園」の活用を検討すべきではないか。

市長 実施計画通り、民営化を進めてまいりたい。

意見 量とともに質を重視した待機児解消策が求められている。ぜひ検討してほしい。

質問 神奈川県相模原市の知的障害者入所施設で発生した殺傷事件を踏まえ、①市内入居施設の入居者人数は、②不安が広がっており、施設関係者の意見を十分に聞いた上で対応を求めたい。

答弁 ①施設の定員数は、合計18名である。②施設の代表者会、地域自立支援協議会などで防犯等の安全管理に関する意見をいただき、情報の共有・交換をしていきたい。

「保育計画」課題と安全性問う

梶井 琢太
(市議会民進党)



質問 市立保育園の民間化計画に関して、本町二丁目の施設が開設できず、3月に計画見直しをしていく上で、整備方針の柱である「駅周辺」は都市計画マスタープランの定義に近いものか。

副市長 近傍地を目指していきたい。

質問 隠れ待機児または旧定義待機児(平成28年4月現在186名)への対応は。

答弁 旧定義を基準とした計画はない。意見 国で定義の見直しが行われる中、市でも支援事業計画の中間見直しを行う中で、しっかりと対応をすべき。

質問 しんかわ保育園の不同沈下に関する、安全性は確保していくのか。

市長 適宜、必要に応じた修繕等を行う。当然、安全性も重要視したい。

質問 過去に行われた園庭等の調査の指摘に対し、不同沈下の影響を含め、再調査が必要により修繕すべきでは。副市長 現場を見て検討はしていく。

高額家賃問題が大幅に改善へ

富田 竜馬
(市議会民進党)



質問 教育センターの契約更新について、年間約3000万円×20年という契約の是正をこれまで求め続けてきたが、教育委員会の方向性は。

答弁 賃借金額が多額であることを鑑み、借入面積を必要最小限に抑え、契約も年間約80万円×5年とした。

質問 協働のまちづくりについて、市民や団体、企業など民間が躍動するためにも、先進事例に倣い、補助金の公募制を導入すべきではないか。

市長 地域活性化に向け、その手法を模索中である。研究し、努力したい。

質問 台風に伴う大雨による土砂崩れ(小山)について、崩落を免れた箇所への対応と近隣住民への情報提供を。

答弁 鉄道事業者より、本工事の工法は検討中であるが、崩れていない箇所は土砂崩れの心配はなく、点検は行わないと伺っている。近隣の方への対応は、自治会を通して行っていきたい。